

産業建設常任委員会

日 時 令和7年4月16日（水）午前10時00分～
場 所 全員協議会室

1 開議

2 行政報告

【産業観光部】

（１）オープンイノベーションセンター・亀岡の現状報告について

3 その他

令和 7 年 4 月
産業建設常任委員会 資料

産業観光部



Open Innovation Center Kameoka

オープンイノベーションセンター・亀岡

オープンイノベーションセンター・亀岡 2024年度 事業実績報告書

オープンイノベーションセンター・亀岡

1. 事業経費
2. 施設整備事業
3. 管理運営事業
 - i. 会議体
 - ii. 研究開発支援事業
 - iii. 技術相談・技術指導
 - iv. 人材育成
 - v. 産業技術普及・啓発事業
 - vi. 企業等支援プラットフォーム事業
 - vii. その他

収入

(単位：千円)

項目	備考	当年度予算	執行見込
亀岡市補助金		30,000	30,000
OICK収入	施設利用料、研修受託費 等	8,000	9,750
大学自己負担額		0	5,895
合計		38,000	45,645

支出：施設整備事業

項目	備考	当年度予算	執行見込
工事費	設備整備 等	3,000	4,056
設備購入費	研修用機器、設備 等	0	3,682
小計		3,000	7,738

支出：管理運営事業

項目	備考	当年度予算	執行見込
人件費	スタッフ人件費、講師謝金 等	16,700	24,277
維持管理費	水光熱費、建物保全費 等	4,150	4,603
研究開発費	研究開発に必要な調査、機材 等	700	410
事業活動費	活動に必要な費用	13,450	8,617
小計		35,000	37,907

収入合計		38,000	45,645
支出合計		38,000	45,645

OICK推進棟1階 事務室 の 空調改修

- 事務室の空調機器が故障したため、空調の取替工事を実施した。



空調機：平成8年8月26日施工



No.1

朋文館事務所空調更新下見

室外機分解にて更新下見確認実施



No.2

朋文館事務所空調更新下見

現状正常に動作していましたが

基板内に子ネジの侵入～感電死

発見。

当基板は生産中止のため、

交換修理不可。

点検結果：業者不具合箇所報告書より

① 最高幹部会 1回/年 開催

開催日：'25/3/27

(最高幹部) 桂川 亀岡市 市長
川勝 亀岡商工会議所 会頭
前田 京都先端科学大学 学長

② 運営委員会 6回/年 開催

開催日：'24/5/28, '24/7/16, '24/9/3, '24/12/3, '25/1/28, '25/3/18

(委員) 石野 副市長（委員長）
三村 バイオ環境学部長 （副委員長）
松本 亀岡市産業観光部長
高屋 亀岡商工会議所専務理事
的場 京都先端科学大学 OICKセンター長
鶴田 京都先端科学大学 特任教授

事業概要

- ①特定テーマによる大学研究室と企業等による共同研究開発プロジェクトの構築
- ②企業等の研究開発のための施設・設備の貸出

①研究開発

- EVプロジェクト(京都大学との共同研究)
 - ・ 本学が所有するタジマ社製EV「ジャイアン」に、京都大学が開発したモーターおよび本学が開発したインバーターを実装し、走行試験および性能評価を実施した。
(ナガモリアクチュエーター研究所 堂前特任教授)



- 水質モニタリング技術に関する産学共同研究 (バイオ環境学部 × (株)アナテック・ヤナコ)
 - ・ バイオ環境学部・櫻間晴子准教授を研究代表者とする研究が、一般社団法人京都知恵産業創造の森の「令和6年度産学公連携共同研究開発事業補助金」に採択された。
 - ・ テーマ：「長期設置型水質計測器への搭載に向けた大腸菌数測定技術の開発」
 - ・ 本研究では、(株)アナテック・ヤナコの水質検査装置を活用し、櫻間准教授が同社に新たな探査技術を提供。得られた成果を基に、同社において製品化に向けた開発を進める。

② 企業等の研究開発等を目的とした施設・設備の貸出

利用料
281万円（税込）

- OICKが所有する施設・設備（実装・実習棟、屋外試験路・試験場、レクチャールーム、レンタルオフィス、コワーキングスペース）の外部利用を促進した。



屋外試験路・試験場



実装・実習棟

活用実績（企業・団体）

GLM株式会社

フォロフライ株式会社

エーシー企画株式会社

株式会社マップフォー

株式会社ティアフォー

三井住友海上火災保険(株)

株式会社モー・チェ

京都ドローンベース

(一社)京都府自動車整備振興会

(一社)日本自動車販売協会連合会

専門学校日産京都自動車大学校

南丹高校工学クラブ

千代田機工株式会社

ニデック株式会社

神明和工業株式会社

京滋ユアサ電気株式会社

亀岡商工会議所

曾我部・西別院・東別院消防分団

(株)こみの学校

(株)JMDC

① 山下商店様

産学連携コーディネーターを中心に、大学のネットワークを活用し、企業などを対象とした技術相談・起業相談の窓口活動を実施

- 太秦キャンパスで学生によるブレインストーミングを実施し、お漬物の概念を打ち破るアイデアを広く収集した。
- 亀岡商工会議所の補助金を活用し、新商品開発を支援した。



- ブレストから出たジャムや和菓子の商品展開を目指し、それぞれOEM先を紹介しマッチングを行ったが、折り合いがつかず仕切り直し。
- 山下商店様の経営スタイルに合った省人力かつスピーディーに商品を提供できるアイスに挑戦、OEM先を紹介しマッチング
- 試作を重ねた結果、3種類のお漬物アイスが完成。
- 2025年4月からの店頭販売開始（各400本、計1200本）



亀岡市大井町に工場を有し、清水の産寧坂と鎌倉の小町通に店舗を構える。OEM供給などお漬物にかかる販売チャネルを多く有する。



② ふじ幸様

産学連携コーディネーターを中心に、大学のネットワークを活用し、企業などを対象とした技術相談・起業相談の窓口活動を実施

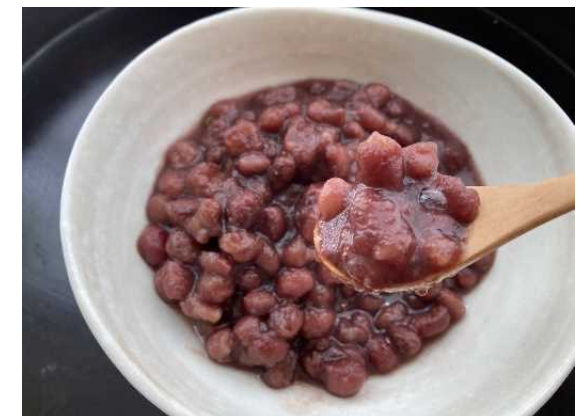
- 健康ブームやハラル対応のニーズに応えるため、委託先から砂糖不使用のあんこ開発について相談があり、OICKに相談
- 実現に向けた知識やアイデアの提供、また亀岡商工会議所の補助金を活用し、新商品開発を支援した。



- あずきを発酵させて甘みを引き出すアイデアを提案いただき、その実現に向けてバイオ環境学部の三村学部長、萩下教授、井口准教授との協議を実施。
- 発酵研究に取り組む大阪の企業を訪問したが、技術難易度が高いとして、別に代替案を提案頂いた。
- 双方のマッチングを実施し、昨年末に試作が完成した。
- 現在も製品化に向けた改良を続けている。



亀岡市河原林町で、店舗兼工場を有する和菓子の製造販売を営んでいます。



③ 曽我部小学校 × (株)大安

産学連携コーディネーターを中心に、大学のネットワークを活用し、企業などを対象とした技術相談・起業相談の窓口活動を実施



- 曽我部小学校で育てた、まる曾玉ねぎを製品化すべく、大安の大角社長との打ち合わせを経て、マッチング。
- 9月には曽我部小学校が大安の亀岡工場へ社会見学を実施、また11月の曽我部町文化祭において、まる曾玉ねぎのお漬物の販売が実現した。

④ その他

- ドライフルーツの相談があり、バイオ環境学部四日先生と薫豆堂（京都市）の協議の場をセッティング。
- 冷凍技術にかかる昨今のトレンドを亀岡市内の朝日堂にレクチャー。
- 福知山市の専業農家86farmの、第6次産業化に向けて、発酵技術にかかる相談をバイオ環境学部井口准教授との協議の場をセッティング。

④ (株)アイケイエス × 亀岡電子(株)

- 亀岡電子(株)が持つ精緻な配線技術、検査技術を他の領域に展開したいと相談を受けた。
- これからニーズが高まるEV、パワエレ分野でのビジネスを検討し、JSTスーパークラスタープログラムでSiCを用いた電源装置を開発していた(株)アイケイエスに相談。
- (株)アイケイエス が採択された (公財)京都エコノミック・ガーデニング Ⅲ 本格的事業展開コース「I_DENCON（電力変換装置）の量産化に向けた生産技術開発」に亀岡電子(株)の技術が使われ、新型電力変換装置が完成。年間100台以上の売り上げを見込む。
- 国プロの成果を地域の企業が地域の補助金を用い、地域の企業と共創して社会実装した全国でも稀有の事例。
- 商品が販売されれば、地域エコ・システムが成り立つ初めてのケース。



亀岡電子が開発した検査装置 今まで8時間かかっていた検査が1時間で完了



I-DENCONが搭載された蓄電池内蔵急速充電装置 (太陽光パネルで発電した電気を蓄電池に取り込むモデル)

① 企業向け研修（2023年度からスタート、2024年度 継続実施）

受託金額
660万円（税込）

- 三井住友海上火災保険株式会社の技術アジャスター（損害査定担当者）を対象に、EV研修（リカレント教育）を実施した。
- ・ 開催日 ：'24/7/28~19, '24/10/17~18, '25/2/20~21（全3回）
- ・ 実施目的：EVの損害調査業務を行うため、必要な知識や技術を習得すること
- ・ 実施概要：EV等の専門知識を座学で、実車の走行データ収集等を実習で研修する。
- ・ 受講者数：計54名（前年比 ▲300%増加） 18名/7月 18名/10月 18名/2月



座学（専門知識の習得）



実習（走行データの収集実習）

② 自動車整備士を対象としたEV研修（2024年度からスタート）

受託金額
14万円（税込）

- 自動車整備士を対象に、EV研修を実施し、整備に必要な知識と技術を座学と実習を通じて習得した。本研修を修了した受講者には、的場宏次OICKセンター長より修了証が授与された。
- ・ (一社)京都府自動車整備振興会亀岡地域自動車整備士向け研修 (2024/6/25実施) 11名参加
- ・ (一社)日本自動車販売協会連合会京都府支部会員企業 (2024/10/4実施) 7名参加
- ・ (一社)京都府自動車整備振興会亀岡・南丹船井地区合同研修会 (2024/11/9実施) 45名参加



的場宏次 OICKセンター長 による修了書の授与

受託金額
20万円(税込)

- 導入森林・林業・自然保護・地域再生の関係者を対象に、「森林管理GX講座」(Web講座)を開講。本講座は、日本森林技術協会が認定する森林技術情報士の森林GIS部門における講習教材として導入された。
- (一社)日本森林技術管理協会 会員向け 森林管理GX研修実施 (2024/6/20～7/11) 45名受講

[illegible]

④ スマートアグリハウスの活用 (2024年度からスタート)

- 異なる条件下での作物の成分分析比較や、施設栽培に使用するセンサー類の実証を実施。省人力化や環境負荷の軽減、栽培・収穫の効率化を検証するとともに、既存農法の数値化による評価を行った。



ハウスA 2024/5/17 果菜類棟



ハウスB 2025/1/28 葉菜類棟

活用実績 (試験栽培中)

活用事例	バイオ環境学部
トマト (3月~7月)	佐藤特任教授
春菊・水菜・シロナ (3月-5月)	佐藤特任教授
春菊・水菜・シロナ (5月-6月)	佐藤特任教授
パセリ・バジル・小松菜 (7月-9月)	アシャド講師 佐藤特任教授
パセリ・バジル・小松菜 (9月-11月)	アシャド講師 佐藤特任教授 藤田教授
マスクメロン (12月-1月)	アシャド講師
エディブル・フラワー・イタリアンパセリ 水菜・小松菜 (12月-1月)	アシャド講師 佐藤特任教授



① 最先端の産業技術や科学技術に関する講演会やイベント開催

対象：児童・学生・市民 等

- 展示会等出展・発表
- ・ 京都フードテックエキスポ2024（24/10/3～4）出展 @KICK
スマートアグリハウスの利活用促進を訴求。
- ・ 中信ビジネスフェア2024（24/10/9～10）出展 @京都パルスプラザ
OICKの利活用促進を訴求。
- ・ イノベーションストリームKASANS AI8.0(2024/11/28-29)出展 @グランフロント大阪
スタートアップの技術実証環境であるOICKを訴求。
- ・ Challenge万博「大学発シーズ・スタートアップがつくる未来社会- University Expo in Tokyo -」
（24/1031-11/1）出展・発表@三井住友銀行本店
首都圏での投資家、金融機関へ技術実証の場としてOICKを訴求。
- ・ 京都ビジネス交流フェア(2025/2/13-14)出展 @京都パルスプラザ
地域企業に技術実証の場OICK、事業化のパートナーとしてKUASを訴求



Challenge万博2024

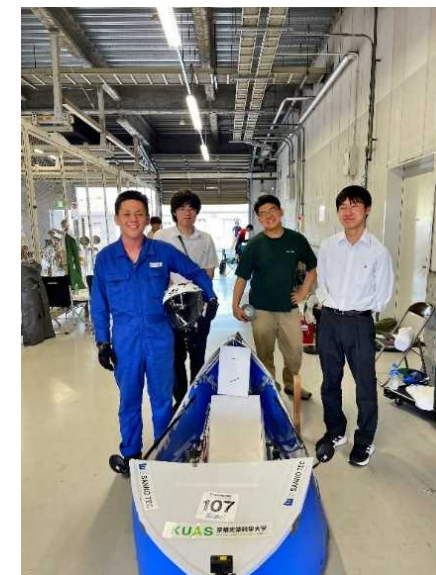
② 小・中・高校生向け先端技術体験

- サイエンスフェスタ 2024（24/11/23）@ガレリアかめおか
 - ・ 小学生向けにドローン操縦体験とテスラ試乗体験を実施
 - ・ テスラモデル3の展示では、実際に運転席に座ってガソリン車との違いを体感してもらいました。
 - ・ ドローン操縦体験では、小学2年生～6年生を対象にDJI社製のMini3の操縦体験（40分×5クール）を実施し、多くの子どもが次世代モビリティを体感いただきました。



③ 南丹高校工学クラブとのEV製作プロジェクト

- 若手技術者育成を目的に、南丹高校工学クラブと連携し、競技用小型EVを製作した。
- OICKが足で操作する車両を設計し、市内企業がフレームを製作、学生がボディ製作を担当した。
- 7月のEne-1スズカチャレンジでは、難関のダンロップ坂を完走し、4,200mの記録を達成。学生たちは、来年の挑戦へ意欲を燃やしています。今後も技術者育成と地域連携を推進します。



④ 経済産業省近畿経済産業局主催のシンポジウムに鶴田靖人特任教授ご登壇

- 近畿経済産業局主催によるシンポジウム「CASE時代へ 磨け！サプライヤーの変革力」～経済産業省ミカタプロジェクト～が開催された。
- 国際学術研究院の鶴田靖人 特任教授がパネリストとしてご登壇し、業界の変革について議論を交わした。
- CASEは目的そのものではなく、社会問題を解決するための手段、企業が自社の強みや弱みを正確に分析することで、CASEを事業拡大のチャンスとして活用してほしいという期待を述べられた。

2024年12月18日（水）に滋賀県大津市のピアザ淡海



① SNS活用セミナー

南丹地域でのオープンイノベーションを継続的に推進するため、新規ビジネスの機会、助成制度、経営トレンドなど、企業に役立つ情報を提供

- ネット上での認知度向上と販路拡大を目的とした「市場開拓プロジェクト」として、SNS活用セミナー（全3回）を実施した。
- 受講者は、SNSの基本から応用までを体系的に学び、実践的な知識とスキルの習得を図った。

「実績」

開催日	テーマ	参加人数
8/6	～SNSを使ってターゲットにアピール！～ 売上に繋がるSNS運用基本の「キ」習得講座	17人
8/27	～フォロワーが少なくても大丈夫！～ 知らないと損する正しいInstagramの活用法	16人
9/10	～フォロワーが少なくても大丈夫！～ 知らないと損する正しいInstagramの活用法	16人

自社の魅力を発信する SNS活用セミナー

ビジネスの世界では、当たり前のように使われているSNS。みんなが使うからこそ、日々情報が発信され、たくさんの情報がネット上に溢れています。その中で自社のサイトを、そして伝えたい商品の良さをお客さまに届けるには、SNSの基礎をしっかりと学び、そして応用していくことが選ばれるサイトとなります。SNSの専門家から3回にわたり、皆さんのやり方が正しいのかを知るとともに、伝えたい情報を適切に発信できる知識を学びます。

～SNSを使ってターゲットにPR～売上に繋がるSNS運用基本の「キ」習得講座

第1回 8/6 (TUE) 18:30～20:00

1. SNSの概要と各種サービス (Instagram, X, Facebook, TikTok, LINE 等) の特徴
2. ターゲット毎のSNSサービスの使い分け、活用方法
3. 他社SNSの成功事例を学ぶ

会場：オープンイノベーションセンター・亀岡 (京都先端科学大学京都亀岡キャンパス内) 申込はコチラの申込コードから (申込/申込締切日 10/1 まで)

第2回 8/27 (TUE) 18:30～20:00

【Instagram 基本編】

1. 知っておきたいInstagramの基本、活用事例の紹介
2. 成果につなげるInstagram活用法

Instagram活用3ステップ、成果を確認する分析法

持物：スマートフォンまたはタブレットをお持ちください。申込はコチラの申込コードから (申込/申込締切日 10/1 まで)

第3回 9/10 (TUE) 18:30～20:00

【Instagram 応用編】

1. フォロワーの増やし方、いいねやコメントにつながる投稿術
2. 投稿を多くのユーザーに見てもらえる運用方法
3. スマホでの写真の撮り方

持物：スマートフォンまたはタブレットをお持ちください。申込はコチラの申込コードから (申込/申込締切日 9/9 日 10/1 まで)

問い合わせ先
オープンイノベーションセンター・亀岡 ☎ 0771-29-2405 ✉ oick@kuas.ac.jp
(京都先端科学大学京都亀岡キャンパス内)

② ECサイト売上拡大セミナー

南丹地域でのオープンイノベーションを継続的に推進するため、新規ビジネスの機会、助成制度、経営トレンドなど、企業に役立つ情報を提供

- SNS活用セミナーで習得した知識・スキルを応用し、自社ECサイトへの誘導から購買・集客につなげる手法を学ぶ実践的セミナーを実施した。
- 受講者のデジタルマーケティング実践力向上を図った。



「実績」

開催日	テーマ	参加人数
10/24	ふるさと納税サイトで自社商品の魅力伝え方講座	4人
11/12	ECサイト集客・運用講座【ノウハウ習得編】 ・ ECモール内の仕組みを知り、自社が選ばれるスキルを学ぶ ・ Googleの検索傾向に基づいたサイト構築を学ぶ ・ 自社のネーミングや魅力の上手な伝え方を学ぶ	5人
12/3	ECサイト集客・運用講座【マーケティング編】 Chat GPTの特性を学び、ワークショップを通じて、AIによる商品説明から時短かつ効率的に消費者にささる文章の作成を学ぶ	5人

B to C 事業をはじめとして、販路を広げるには不可欠になりつつあるEC。便利であるからこそ、多くの競合他社も出展されており、その中から選ばれるショップになるための知識やスキルを身に付けて、販路拡大や売上拡大につながるセミナーを開催いたします。

ふるさと納税サイトで自社商品の魅力伝え方講座 講師 楠田 尚子氏
MONOCOTO PLUS 株式会社 代表取締役

日時 10/24 (木) 18:00 ~ 19:30

内容

1. FABE 分析により自社の強み(魅力)やターゲットを見つけ出す
2. ターゲットにささる説明文や画像、動画のスキルを学ぶ
3. 自社商品のストーリー(魅力)の伝え方を学ぶ

※必読※ セミナーの前後に、中小規模(※) 離れから始める事業活動のステップアップ情報(※) 支援メニュー(※) の紹介を行います。

※必読※ セミナーの前後に、中小規模(※) 離れから始める事業活動のステップアップ情報(※) 支援メニュー(※) の紹介を行います。

※必読※ セミナーの前後に、中小規模(※) 離れから始める事業活動のステップアップ情報(※) 支援メニュー(※) の紹介を行います。

ノウハウ習得編

日時 11/12 (火) 18:00 ~ 19:30

内容

1. ECモール内の仕組みを知り、自社 shop が選ばれるスキルを学ぶ
2. Google の検索傾向に基づいたサイト構築について学ぶ
3. 自社商品のネーミングやストーリー(魅力)の上手な伝え方を学ぶ
4. 購入者からのコメントの集め方を学ぶ

※必読※ セミナーの前後に、中小規模(※) 離れから始める事業活動のステップアップ情報(※) 支援メニュー(※) の紹介を行います。

マーケティング編

日時 12/3 (火) 18:00 ~ 19:30

内容

AI を使ったマーケティングを身につけることで、自社 shop に掲載する商品の説明や読み物に AI からヒントをもらい、時短かつ効率的に消費者が購入したくなる文章を作るスキルを身につけます。

今回のセミナーでは生成 AI の代表である Chat GPT を活用したマーケティング術の習得を目指すため、Chat GPT の特性(長所・短所、回答の引き出し方)を学び、後半はワークショップによる実践を行います。

※必読※ セミナーの前後に、中小規模(※) 離れから始める事業活動のステップアップ情報(※) 支援メニュー(※) の紹介を行います。

※独立行政法人中小企業基盤整備機構は、日本の中小企業が自社の魅力を最大限に高める事業活動ができるよう新商品(サービス)開発や市場開拓、海外販路開拓、スタートアップ、事業承継などあらゆる経営課題に寄り添って支援する公的機関です。

問合せ先 オープンイノベーションセンター・亀岡(京都府立総合技術センター内) ☎ 0771-29-2405 oick@kuas.jp

③ 動画作成セミナー

南丹地域でのオープンイノベーションを継続的に推進するため、新規ビジネスの機会、助成制度、経営トレンドなど、企業に役立つ情報を提供

- 商品・サービスの魅力を効果的に伝える手段として注目される動画活用に着目し、動画編集アプリの基本操作や作成のコツを学ぶセミナーを実施した。
- 受講者の動画作成に対する心理的ハードルを下げつつ、情報発信スキル向上を図った。

「実績」

開催日	テーマ	参加人数
1/28	ノウハウ習得編 ・動画からビジネス拡大の可能性を学ぶ ・動画の活用事例 ・動画の作り方 (構成の考え方や作り方のワークショップ)	12人
2/4	スキルアップ編 ・アプリVILLOを使ったワークショップ ・動画の活用方法 (SNSやyoutube)	12人

コツが分かればスマホで簡単！明日から実践！

動画からビジネスチャンスを広げる

動画作成セミナー

講師 中野 雅公氏
webマーケティング支援、SNSを活用した集客店の仕組みづくり等、数多くの支援実績をもち、デジタルとアナログを活用した集客・販売促進の専門家。

受講料 無料
定員 20名

SNS や web における自社商品（魅力）を伝えるための動画構成の作り方や編集方法などビジネスチャンスを広げるための動画作成について基礎から実践まで、2回にわたってセミナーを実施します。

会場：オープンイノベーションセンター・亀岡（京都先端科学大学京都亀岡キャンパス内）

第1回（ノウハウ習得編）
1/28（火）18:00～19:30
動画からビジネス拡大の可能性を学ぶ
売上につながる動画や最近の多く用いられている動画の手法を学びます。
動画の活用事例
他社の動画の成功事例から自社の動画作成のヒントを学びます。
動画の作り方（構成の考え方や作り方のワークショップ）
台本の作り方、商品（サービス）の魅力を効果的に伝える方法を学びます。

第2回（スキルアップ編）
2/4（火）18:00～19:30
アプリ VILLO を使ったワークショップ
1/28のセミナーでワークショップを行った台本をもとに、動画を作ります。
動画の活用方法（SNS や youtube）
プラットフォームによってお客様が求める動画の内容や時間が異なります。それぞれに適した配信内容や時間を学びます。

●当日は VILLO を使いますので、あらかじめアプリをダウンロードしておいてください。
●セミナー会場は Wi-Fi が利用できます。

お問い合わせ先 オープンイノベーションセンター・亀岡（京都先端科学大学京都亀岡キャンパス内）
☎ 0771-29-2405 ✉ oick@kuas.ac.jp

④ 京都アトツギベンチャー フェスティバル

南丹地域でのオープンイノベーションを継続的に推進するため、新規ビジネスの機会、助成制度、経営トレンドなど、企業に役立つ情報を提供

- 南丹地域を含む府内全域からアトツギ経営者28名と支援機関15名が一堂に会するアトツギ支援イベントを開催した。
- 赤字経営からのV字回復や経営ノウハウを活かした新市場開拓の事例共有を通じて学びを深めるとともに、アトツギ経営者同士のネットワーク構築が促進され、大変有意義な機会となった。



⑤ 経営リーダーズベースキャンプ ～未来開拓塾～

南丹地域でのオープンイノベーションを継続的に推進するため、新規ビジネスの機会、助成制度、経営トレンドなど、企業に役立つ情報を提供

- 45歳以下の起業家および事業承継者を対象に、経営スキル向上を目的とした継続的なコミュニティ形成に向け、5月からの本格始動を前にキックオフイベントを実施した。
- 当日は19名が参加し、講師・大滝氏より経営ノウハウを学ぶとともに、参加者間の交流を深める機会となった。
- 2025年5月23日（金）からは、月1回のペースで連続講座を予定する。

キックオフ!!
2025年5月開塾!

京都中部
経営リーダーズ
ベースキャンプ 未来開拓塾

変わる時代、
進化する事業。
アナタが
知っておくべきこと。

無料
先着20名

日時 2025 **3/19** 水
17:00 START

会場 **TRANSit**
星和電機工事(株) 亀岡市荒塚町1丁目3-14

対象 **45**歳以下で、いずれかに該当する方
・起業予定、または起業して事業を進められている方
・事業を引き継ぐ予定、または引き継いでいる経営者

講師
株式会社大滝工務店
代表取締役
おおたき ゆうすけ
大滝 雄介 さん

「難局を乗り切る /
会社をリブランディングするための
経営者が持つべき思考と行動力」

- 既存事業の再定義とミッションに基づく経営
- 事業の基盤機能から新規事業までのプロセス
- 本業 X 地域資源から生まれるまちづくり

さっそく申し込む

締切: 3月11日(火)まで

主催: オープンイノベーションセンター・亀岡 共催: 京都信用保証協会
後援: 近畿経済産業局、京都府南丹広域振興局、南丹市、京丹波町、京都府事業承継・創業支援センター、公財財団法人京都産業21、
南丹市商工会、京丹波町商工会、株式会社京都銀行、京都信用金庫、京都中央信用金庫、京都北部信用金庫

⑥ 展示会合同出展

南丹地域でのオープンイノベーションを継続的に推進するため、新規ビジネスの機会、助成制度、経営トレンドなど、企業に役立つ情報を提供

- 販路拡大を目的に、亀岡市内の食品製造業者に呼びかけ、2月12日（水）～14日（金）の3日間、東京ビッグサイトで開催された「第37回グルメショー春2025」に4社合同で出展しました。
- 主催者速報によると35,980人が来場し、当ブースにも関東圏を中心に全国各地から多くのバイヤーが訪れました。普段接点のない企業とも商談が進み、契約につながる具体的な話し合いが行われました。

「事務局より」

海外販路を持つ商社とつながり、亀岡市内の事業者が海外進出できるよう支援します。販路の確保や言語・食品表示などの輸出に関する課題を解決し、海外展開を後押しします。



① 企業・団体来訪/訪問件数

- のべ243回 (対前年比 ▲38%増加)

② 会議・委員会等における当センターの事業説明

- 亀岡市農業経営研修会
事業説明（24/12/12）@亀岡市役所 36名参加
新規就農者に向けたスマートアグリハウスの利活用法を説明。
- 京都治具ソリューションネット例会
事業説明（25/1/23）@長濱製作所 12名参加
治具製造企業への実装・実習棟の活用を訴求。
- (公社)京都工業会経営企画戦略会議 2 1 例会
事業説明（25/3/17）@コワーキングスペース 14名参加
京都工業会参画企業へのOICKの活用とKUASとの共同研究を訴求。



Open
Innovation
Center
Kameoka

『令和6年度 産業建設常任委員会 申し送り事項』

➤ O I C Kの活用について

- ◇ 他市町村との差別化を図った亀岡ならではの高付加価値商品の開発支援の推進。
- ◇ O I C Kを浸透させるための市民への周知方法の検討。
- ◇ 起業しやすい支援体制の整備。
- ◇ グリーンハウスの有効活用。

➤ ジビエについて

- ◇ ジビエ施設導入等新規事業への参入。
- ◇ 販売網の整備及び経営者への支援。
- ◇ 環境保全の観点からも腐らせる前に有効に活用できるように。

➤ 農林業について

- ◇ 将来を担う林業従事者の人材育成に係る取組の充実。
- ◇ レーザ林相図やプロセッサ等の利活用による持続可能な林業の構築。

➤ 全国都市緑化フェア i n京都丹波について

- ◇ 事業の開催により、亀岡市に多大な経済効果をもたらし、にぎわいの創出に寄与できるよう進捗等を随時確認し支援する。

【産業建設常任委員会】

～指摘要望事項まとめ～

議案等			指摘要望事項
議会月	区分	内容等	
3月	条例	亀岡市保津川における舟運事業等の安全の確保等の推進に関する条例の制定について	○条例で定める目的達成のため、関係機関や近隣自治体と十分に連携し、景観への配慮を含めて安全確保等を徹底されたい。また、協議会において有事の際に対応ができるよう検討されたい。
3月	条例	川の駅・亀岡水辺公園条例の一部を改正する条例の制定について	○川の駅・亀岡水辺公園における宿泊キャンプについては、近隣住民に十分配慮するとともに、目的にそぐわない使用や近隣からの苦情等がないようしっかりと対応されたい。
12月	補正予算	一般会計 (第4号)	○公園緑地整備事業費において、全国都市緑化フェア in 京都丹波終了後も、整備した公園を市民が有効に活用し、今ある公園の魅力をさらに発信できるよう設計に当たるとともに、事業計画の進捗状況を適宜議会に報告されたい。 ○食農ブランド事業経費において、プラントベースフードの推進事業について、分かりやすく市民周知に努め、これまでのオーガニックビレッジ宣言とあわせた取組を推し進められたい。

≪産業建設分科会≫

令和6年9月決算特別委員会 事務事業評価結果

番号	事業名	評価	意見等
1	森林活用推進事業経費	1 拡充	○森林資源解析結果やレーザ林相図などの資料を有効に活用して、持続可能な森林資源の利用促進に努められたい。 ○今後、豊かな森を育てる基金を積極的に活用し、計画的に適切な森林整備に努められたい。また、将来を担う林業従事者の人材育成に取り組まれたい。
2	公園緑地整備事業費 (単独)	3 見直しの上継 続	○住民の声を聞き、防災や地域コミュニティなど、各地域における公園の在り方を見直されたい。 ○昨今の物価高騰などを考慮する中で、補助制度の見直しを検討し、地元の負担軽減を図られたい。
3	管渠布設費	2 現状維持	○昨今の異常気象を鑑み、短期間での大雨など想定外の自然災害に対応できるよう、より安全な雨水排水整備事業を進められたい。 ○事業完了予定日が延伸されているが、住民が安心して暮らせるよう迅速な整備に努められたい。

愛知県豊橋市

(調査事項)

◇ 水道DX「スマートメーターへの取組」について

(質問事項)

- スマートメーター導入にかかった初期投資額と、その後の維持管理費用を含めたコストは。
- 導入による効率化や経費削減などの費用対効果は。
- 年間の経費節減額は。
- 市民からの反応や満足度は。
- 今後さらにスマートメーターを拡大導入していくご予定は。
- 導入拡大にあたっての課題や改善点は。
- 漏水等の点検や発見はできるのか。
- 耐用年数は。
- 導入による人件費の削減目標は、また、現在の達成率は。
- 導入による料金体系の見直しはあったのか、また、検討されているのか。
- 導入により漏水対応の件数は増加したのか、また、漏水量は早期発見によりどれだけ削減できたのか。
- 通信トラブルはあるのか、また、対応マニュアルの整備はできているのか。
- 福祉分野との連携について。
- 環境分野への貢献について。
- 災害時の対応のメリット・デメリットについて。
- ガスや電気との共同でないと、水道だけではコストが成り立たないと思うがどうか。
- 従来方式と比べての利点と課題は。
- 見守り活動について、実証効果はどの程度向上したのか。
- スマートメーターの通信方式にはどのようなものがあるのか。
- セキュリティ面のリスクへの対応はどのように行っているのか。

愛知県田原市

(調査事項)

◇ 農業に関する取組について

(質問事項)

- どのような戦略で多様な農産物の産地形成や農業経営の多角化を進めてこられたのか。
- 若手農業者や新規就農者の確保・育成に向けて、どのような支援制度や環境整備を行っているのか。
- スマート農業の導入や有機農業への取組状況は。
- 緑の食料システム戦略における有機農業推進の取組状況は。
- 当市では国営ほ場整備が進んでいるが、狭小農地から大区画ほ場後の営農者へ助言があれば。
- 農業産出額全国2位の田原市において、利益率一位の農産物は。
- 当市は有機農業に取り組んでいるが、農業産出額2位の田原市において、労働生産性や営農から有機農業に対し所見があれば。
- 貴市独自の新規就農者支援策にはどのような制度があるのか、また、就農支援補助金制度は。
- 多様な担い手の育成において、家庭菜園も就農のきっかけとして重要だと考えるがどうか。
- 農産物の年間輸出金額は、また、総産出額に対する割合は。
- 新規就農者確保の現状は。
- 若手後継者が多いと聞くが、理由は。
- 生産性向上のための取組は。
- 新技術導入のための取組で専門機関大学などと連携されていると聞くが、現状は。
- たはら農業プランについて
 - 重点プロジェクトの一つである新規就農者の育成は、計画通り進捗しているのか。
 - 令和7年度より農地中間管理による賃借権設定はどのような流れで行われるのか。
 - 基本理念の「結びつきや絆を感じてもらう」について、経験豊富な農業者からノウハウをどのようにして引き出し伝授されているのか。
 - 同「農業者が考える取組を創意工夫をもって伸ばす」について、いくつか事例を。
 - 同「市民の農業への関わりを大事にする」について、いくつか事例を。
 - 同「たはらファン」を増やす、について、いくつか事例を。
 - 同「農業分野への先進技術を積極的に活用する」について、いくつか事例を、また、別途補助金等はあるのか。
 - 上記5点の取組をどのようにして評価・分析されているのか。
 - たはら農業は「儲かる農業」であるか。
 - 本プラン作成における背景は。
 - 日本一元気で魅力的な農業とは。

岐阜県各務原市

(調査事項)

◇ D I Y型空き家リノベーション事業について

(質問事項)

- この事業によって地域の活性化や空き家の流通促進にどのような効果があったのか。
- 移住者の増加や空き家再生の数値的な成果は。
- 事業を継続・拡大していく上で課題は。
- 改修作業の安全性や建築基準法などへの適合、保険制度など、法的な面でどのような対応・配慮されているのか。
- 空き家紹介手数料は発生しないのか、また、民間仲介業者は入らないのか。
- 相続などの処理に行政の介入はあるか。
- リノベーション事業者の市指定はあるか。
- 空き家貸し出しの平均利回りは。
- 今後新規登録物件数は増加すると思うが、契約に至らないもっとも多い理由は何か。
- 自治会加入や近所付き合いを敬遠する人が多くなっているが、どのように取り扱っているのか。
- 「相場より安く借りられる」とあるが、家賃はどのくらいか。
- 入居期間はどのくらいか、また、現在の継続入居は何件か。
- 貸主から、リノベーションの結果次に住む人が入れないような迷惑事例はないのか。
- 貸主から、入居は最低でも何年であるとまた、期間を設けたいなど、要望はできるのか。
- リノベーションの費用はどのくらいか。
- リノベーションへの優遇支援等はあるのか。
- 構造に係る根幹部分などの修繕は貸主の修繕義務とされているが、トラブルなどはないのか。
- 登録件数と契約件数の違いはどのようになっているのか。
- 今後の展開予定は。
- 本事業の事業実施に至るまでの背景は。
- 貴市の空き家数の推移は。
- 貸主と借り手それぞれのメリットは。
- 本事業には空き家の掘り起こしが必要となるが、掘り起こしのための取組は。
- 今後貴市で賃貸を考えている方に本事業を周知する取組は。
- 空き家リノベーション事業推進会議を設置されているが、本会議は1年に何回開催されるのか、また、市民の参加実績は。
- 「各務原市空き家リノベーション事業公式LINE」を運営されているが、情報発信の状況は、また、LINEの登録者数の推移は。
- 空き家バンクとの連携は。